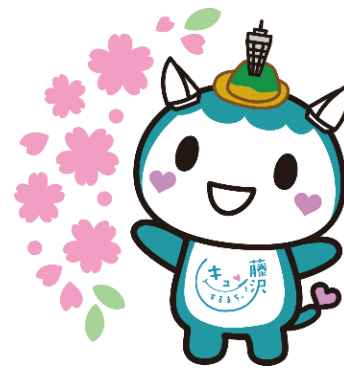


第1回 やすらぎ荘の 「これから」についての説明会



2024年（令和6年）10月24日
藤沢市 高齢者支援課
やすらぎ荘

◆老人福祉センターの設置目的◆

『老人福祉法』（昭和38年制定）

第二十条の七 老人福祉センターは、無料又は低額な料金で、老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする施設とする。



『藤沢市老人福祉センター条例』（昭和44年7月制定）

第1条 老人の福祉の向上を図るため、この市に老人福祉センターを設置する。

やすらぎ荘・湘南なぎさ荘・こぶし荘の3館を設置

- ・高齢者のニーズやライフスタイルに即した様々な事業を展開
- ・利用者のボランティア活動への参加支援など

◆やすらぎ荘の現状◆

- ・ 1969年（昭和44年）開設

ご利用者様に大切にさせていただきながら、**55年**が経過



- ・ **老朽化**が著しく、エレベーターが無いなど、
バリアフリーに対応しきれていない
- ・ 公共施設再整備プランで**検討事業の位置付け**

◆利用者数の減少◆

年 度	利 用 者 数			
	計	やすらぎ荘	湘南なぎさ荘	こぶし荘
H20	288,004	73,181	80,659	134,164
H21	288,146	68,474	82,085	137,587
H22	294,923	71,093	81,626	142,204
H23	308,960	74,526	91,386	143,048
H24	305,921	75,680	89,555	140,686
H25	300,748	73,079	89,743	137,926
H26	301,296	73,814	89,561	137,921
H27	300,265	73,236	89,323	137,706
H28	281,959	72,554	76,828	132,577
H29	298,640	72,938	89,699	136,003
H30	291,993	70,492	91,293	130,208
R1	261,550	63,061	83,744	114,745
R2	42,482	14,470	10,526	17,486
R3	101,556	32,235	26,247	43,074
R4	121,093	36,750	33,898	50,445
R5	144,121	39,230	41,177	63,714

【利用者数】

- ・平成24年度 **75,680人** (ピーク)
- ・平成30年度 **70,492人** (コロナ禍前)
- ・令和 5年度 **39,230人**



利用者数は回復傾向にあるが、
コロナ禍前までに戻っていない

◆老人福祉センターの新規登録者数の推移◆

【新規登録者数】

		やすらぎ荘	湘南なぎさ荘	こぶし荘
・平成23年度	1,649人	(437人	556人	656人)
・平成30年度	1,077人	(278人	390人	409人)
・令和 5年度	893人	(224人	331人	338人)



新規登録者数が減少しており、
実利用者数の増につながっていない

◆利用者の固定化◆

令和5年度 やすらぎ荘の延べ利用者数: 39,230人

やすらぎ荘の実利用者数: 1,267人

市内の60歳以上人口:135,186人(令和6年4月1日現在)を
もとに利用率に換算すると、約0.94%という割合

➡ 一部の高齢者の利用に留まっている状況

サービスの公共性・公平性の観点から、
利用者の固定化が課題

◆やすらぎ荘のランニングコスト◆

【令和5年度 決算】

・指定管理料	37,594,688円
・人件費(3館合計÷3)	23,456,600円
・保険料(3館合計÷3)	21,613円
・賃借料(3館合計÷3)	4,425円
・湘南すまいるバス運行事業費	13,950,340円

合 計

75,027,666円

※指定管理料…施設を安全に維持管理するために、外部委託を行うための費用(主に光熱水費、エレベーターや電気などの点検・メンテナンス費用)

◆やすらぎ荘のランニングコスト◆

【令和6年度 予算】

・指定管理料	39,595,000円
・人件費(3館合計÷3)	25,218,938円
・保険料(3館合計÷3)	24,316円
・賃借料(3館合計÷3)	4,425円
・湘南すまいるバス運行事業費	13,883,000円

合 計

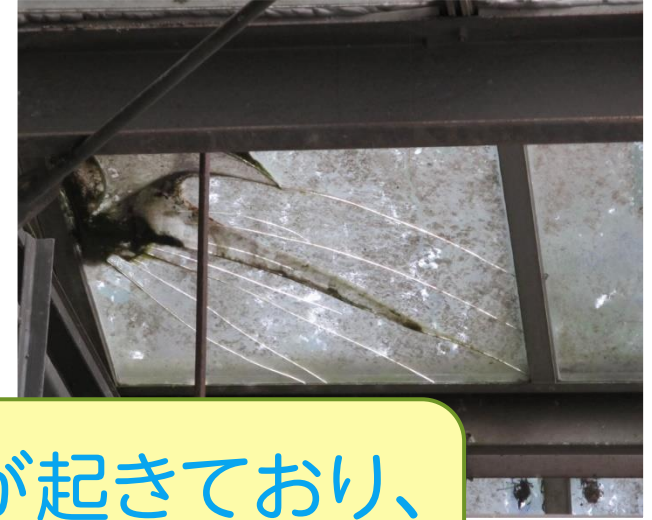
78,725,679円

令和5年度 決算額: 約7千5百万円

令和6年度 予算額: 約7千9百万円

莫大な
コスト

◆やすらぎ荘の不具合箇所等◆



壁のひび割れや天井の雨漏り、設備不良等が起きており、毎年、修繕を行っている状況です。



◆やすらぎ荘の修繕に必要なコスト◆

【過去5年間 やすらぎ荘の修繕費】

- ・高圧ケーブル更新修繕・陶芸室塗装場修繕・休憩室屋根修繕・
高架水槽架台塗装修繕 等 4,045,500円（令和元年度）
- ・空調機更新修繕 503,800円（令和2年度）
- ・空調機交換・更新修繕 2,075,700円（令和3年度）
- ・給湯設備機器更新修繕 1,188,000円（令和4年度）
- ・給湯設備機器更新修繕 933,900円（令和5年度）



5年間で 約900万円の修繕費

◆やすらぎ荘の修繕に必要なコスト◆

【令和7年度 予算(見込) やすらぎ荘の修繕費】

・電気設備更新修繕(動力変圧器)	1,221,000円
・電気設備更新修繕(高圧進相コンデンサ)	1,298,000円
・空調機更新修繕 男子脱衣所	770,000円
・空調機更新修繕 女子脱衣所	770,000円

➡ 約406万円の修繕費

令和7年度以降も、空調機や給湯設備機器等の定期的な設備の更新修繕や、突発的な設備不良への対応が必要

➡ 将来的にも高額な修繕費が継続発生

◆やすらぎ荘のこれから◆

やすらぎ荘は、誕生してから半世紀以上が経過

【様々な課題】

施設の老朽化、利用者数・新規登録者数の減少、
利用者の固定化、施設のランニングコスト・修繕コストの増

➡ 長年にわたり、修繕を繰り返している状態にあるため、
現施設の延命化が難しい状況

【本日の目的】現状の課題を利用者の皆様と共有

⇒ 今後は皆様からのご意見等を踏まえ、議論を深めて
いきたいと考えています。

